



長岡JFCカップ開催

『長岡JFC杯』 【二日目】

十二月八日(土)、洛西浄化センターにて、長岡JFCカップが行われた。JFCからは、チームJ・neoの2チームが出場。初日は両チームともにフルメンバーではない状況でのぞむことになった。

チームJは順当に勝ち進み、予選を一位で通過した。(対・スクデット戦：相手の強いプレスに競り勝ちました) 一方、チームneoは初戦をおどしたものの、続く二試合を勝ち抜き(対・西陣中央戦：強豪チームに見事！勝利しました)、二位通過で初日を終えた。

『熱戦、再び…』 【二日目】

九日(日)、JFC初戦の相手は同じJFC。昨年の若鷲杯から一年の時を経て、「J対neo」の対決が再び実現した。



先制したのはneo。全員でパスをつないでゴールを決め、Jチームに大きなプレッシャーを与えた。しかし、Jもあきらめずに攻めこみ、飛び出したキーパーをかわしてゴール。同点に追いついた。その後はお互いに一歩もゆずらず、意地と意地のつっかかり合いは決着のつかないまま終了。PK戦での勝負となった。

必す勝つ!



『白熱の 三本勝負!』

そして始まった運命のPK。両チーム二人目までが終わった時点で、二対一とJチームがリードしていた。後がないneoチームは、J・三人目のシュートをGKイシイがナイスセーブ！勝利への望みを次に託した。しかし、neo三人目が放ったシュートは、GKタイキがしっかりとキック！終了のホイッスルが響き、チームJが勝利をおさめた。



絶対に 負けられない

グループ決定戦が終了し、Jは一位グループ、neoは二位グループで最終の総当たり戦が始まった。両チームとも、最後の二試合を勝って終わることはできなかったが、気迫のこもったプレーでJFCサポーターを魅了した。

選手のみならずへ
感動と興奮をあげがとう
うー体調不良やケガなどで主力選手を欠き、万全な状態ではなかったけれど、みんな気持ち入っててすてきよかったです。



『熱戦、再び…』 【PART2】

「熱戦の再来」といえる、十一月三日に行われた関西大会京都府予選の対・花山戦が思い出される。一年前と同じ、ユニフォームというのが、本当にドラマチックでしたね。試合は、JFCが押している場面もあったものの、気持ちの面でリベンジに燃える相手に押されてはかな、と思います。



悔しかったあの一戦も、今回のJ対neoの熱い一戦も、忘れられないし忘れてはいけない大切な試合です。そこからこれだけのことを学び取れるか… JFCが強くなるヒントはたくさんあります。少し振り返って前を向いて、「一戦必勝」でがんばろう！

編集後記

JFC指導者のみなさま、本部関係のみなさま、そして保護者のみなさま：寒い中、二日間お疲れさまでした。みなさまのサポートのおかげで、心に残るカップ戦になりました。

特に、同じチームどうしの一戦は一年前の再来となり、緊張感のある中でJ・neo両チームとも最高のプレーができました。私事ながら、試合終了後に号泣してしまいました。涙を流されている保護者の方も多かったです。本当に、ここに書いていられる言葉をもってしても表現しきれない…そんな思いで胸がいっぱいになりました。

感・無・量でした！

とびきの笑顔と
歓喜の紙面を
めつくすことを願います

